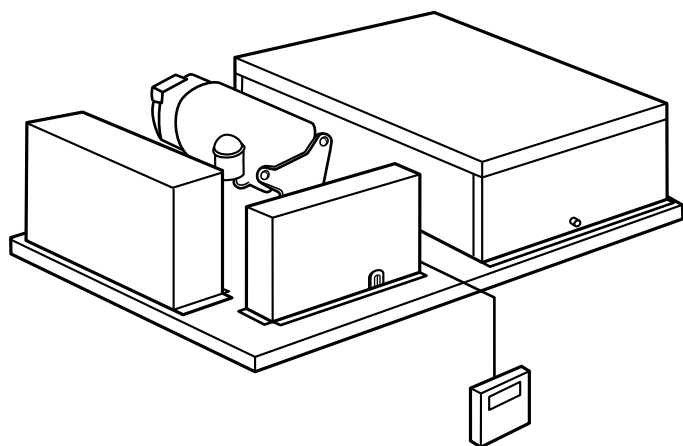


東芝クーリングユニット（業務用）

取扱説明書[据付説明書]

形名

TA-205AL2



もくじ

●安全上のご注意	2～3
●各部のなまえとはたらき	4～5
●安全表示ラベルの貼付位置	6
●正しい使いかた	7～8
●つぎのことは必ず守ってください	9
●このようなときには	10
●お手入れのしかた	11
●修理サービスを依頼されるまえに	12
●保証について	13



据付説明

●安全上のご注意	14
●据え付けのまえに	15
1. プレハブ貯蔵庫への穴加工	16
2. シール用クッションの貼り付け	16
3. クーリングユニット本体の取り付け	17
4. ダクトの取り付け	18
5. ドレンホースの取り付け	19
6. 電気配線	20～22
7. 試運転	23
8. お客様への引渡し	23
9. リモコンによる制御設定値の変更方法	24
10. フロン排出抑制法に基づく 点検実施のお願い	26

- このたびは東芝クーリングユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 据付工事は、専門業者にご依頼ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 安全に正しくお使いいただけるように**使用上の注意事項**、および**移設・修理等の注意事項**は、必ず最終ユーザーの方（実際にお使いになる方）に、十分説明してください。
- 表示と意味は次のようになっています。



 警告	「誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷 ^{*2} を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること ^{*3} 」を示します。

※ 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※ 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

※ 3：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

据付工事は専門業者に依頼する

ご自分で据付工事をされ、不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



専門業者

屋外で使用しない

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

アース工事が正しく行われているか確認する

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続されていないか確認してください。アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者による D 種接地工事が必要です。）



アースの確認

電源は、専用回路を使用する

電源コードを途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をした場合は、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けられていないか確認する

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



据付場所の確認

製品に直接水をかけない

ショート、感電、故障の原因になります。



水かけ禁止

電源コードを傷つけない

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

揮発性、引火性のあるものは、貯蔵庫内へ入れない

爆発や火災の原因になります。



禁止

⚠ 警告

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。



禁止

移設は販売店または、専門業者に相談する
据え付けに不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



専門業者

異常時は運転を停止して元電源を切り、販売店または専門業者へ連絡する

異常のまま運転を続けると感電、火災
元電源「OFF」
の原因になります。



修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理改造は行わない

分解、修理、改造に不備があると異常動作によりけがをしたり、感電、火災の原因になります。



分解禁止

⚠ 注意

濡れた手で電気部品に触れたりスイッチ操作をしない

感電の原因になります。



濡手禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない

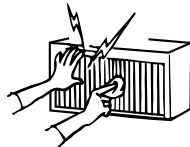
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。



可燃物禁止

清掃の際、凝縮器のフィンに直接手で触れない

けがの原因になります。



禁止

製品の上に乗ったり、物を載せたりしない

転倒、破損、落下などによりけがの原因になります。



上乗り禁止

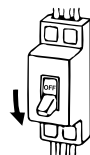
長期間使用しない場合は、安全のため運転スイッチを切り、元電源も切る
ほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



元電源「OFF」

掃除するときや整備・点検のときは必ず運転スイッチを切り、元電源も切る

感電やファンによるけがの原因になります。



元電源「OFF」

露出している配管や配線に触れない
火傷や感電の原因になります。



禁止

取扱者以外の人が触れないような表示をするか、触れる恐れのあるときは、保護柵などで囲う

誤使用によりけがの原因になります。



表示または保護柵

長期使用で据付台などが傷んでいないか、定期的に点検する
傷んだ状態で放置すると、製品の落下につながりけがの原因になります。



定期点検

各部のなまえとはたらき

本 体

外気吸込口

凝縮器フィルター

凝縮器

凝縮器用送風機

コンプレッサ

とって

移動・運搬にご利用ください。

外気吹出口

冷却箱

この中に冷却器および冷却器用送風機があります。

電気部品箱

この中の端子台R,S,Tに電源(3相200V)を接続してください。またアース端子にアースを接続してください。

リモコンスイッチ

庫内温度の設定や温度表示・異常表示を行います。

排水口(外径φ20)

冷氣吸込口

冷氣吹出口

吹出ダクト

必ず取り付けてください。

リモコンスイッチ

表示部

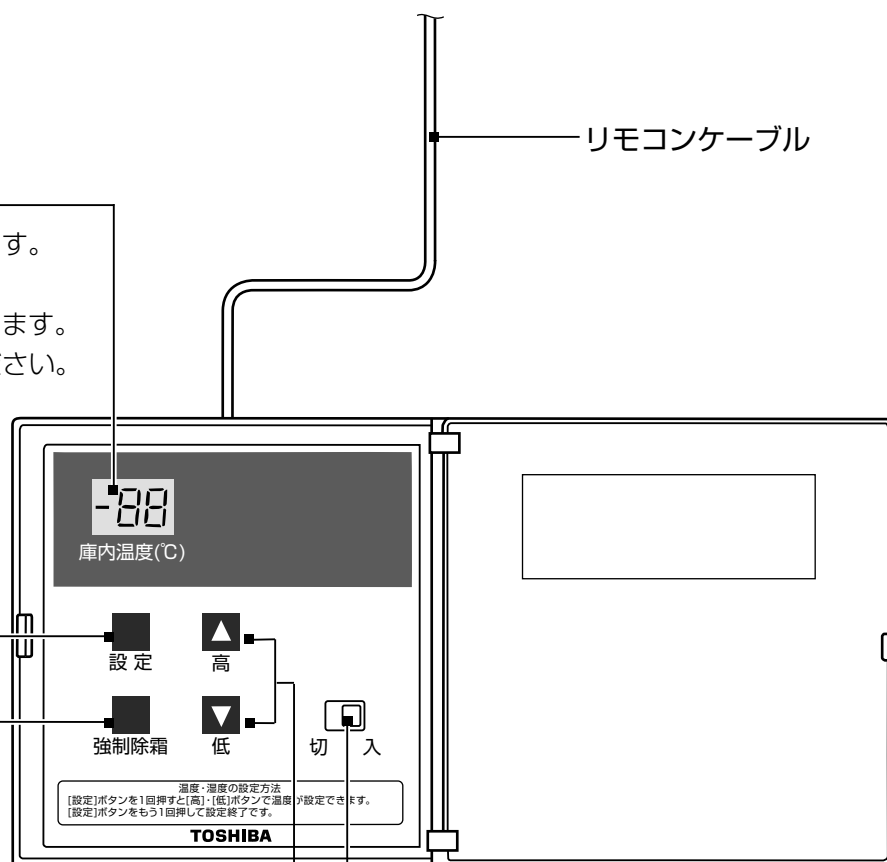
冷却運転中は庫内温度を表示します。
除霜運転中は **df** を表示します。
その他異常の場合は故障表示をします。
くわしくは 10 ページをご覧ください。

設定ボタン

このボタンを押すと、
設定温度を表示します。
また、設定温度の変更
が可能になります。

強制除霜ボタン

このボタンを押すと、
除霜を行います。



運転スイッチ

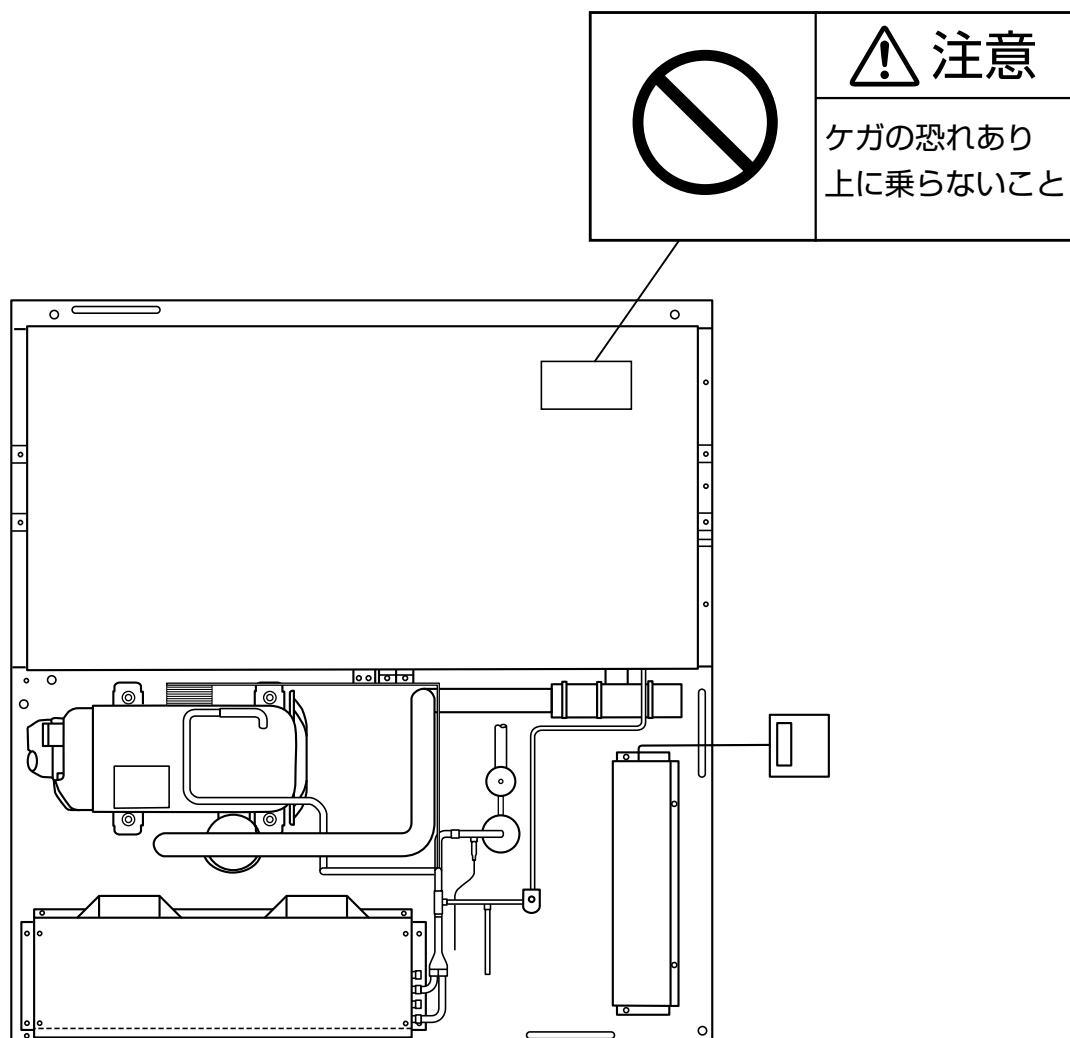
運転を開始するとき「入」にします。

設定変更ボタン

設定温度を変更するときに使います。

安全表示ラベルの貼付位置

- 特に重要と考えられる事項について、安全に取り扱うための安全表示ラベルを貼り付けています。
表示内容を確認し、安全にご使用ください。



正しい使いかた

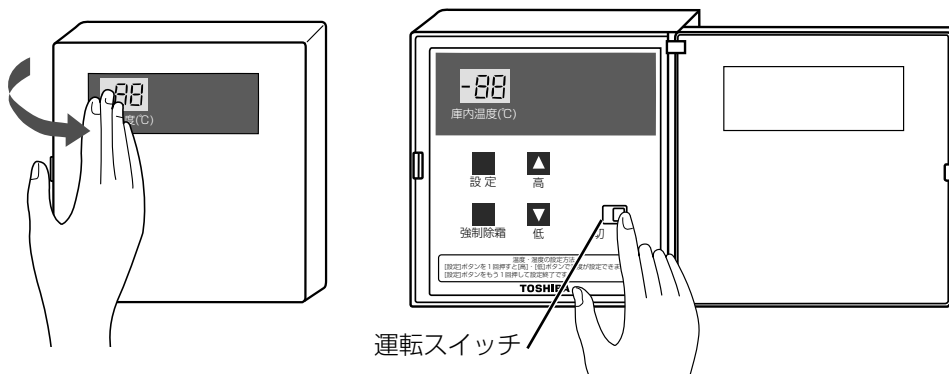
運転のしかた

1 リモコンのカバーを開く

- 左側面のボタンを押しながら開いてください。

2 運転スイッチを「入」側にする

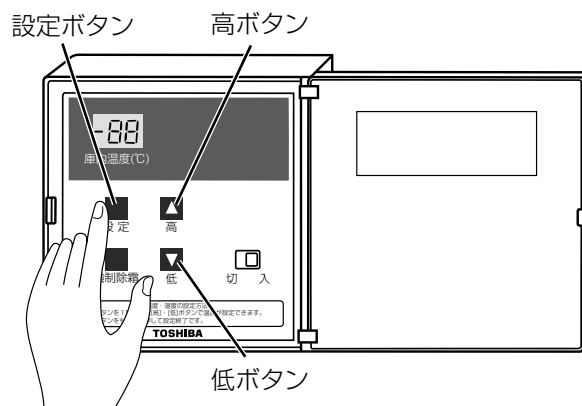
- 運転を開始し、庫内を冷却します。
- リモコン表示部に、貯蔵庫の庫内温度が表示されます。
- 運転スイッチを入れても約3分間はコンプレッサが運転しませんが異常ではありません。



温度調節のしかた

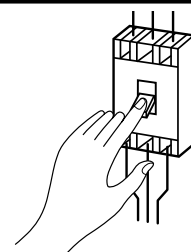
温度設定するには、以下の操作を行ってください。

- 設定ボタンを1回押すと、表示部が点滅し設定温度を表示します。
- 高ボタンもしくは、低ボタンを押すことにより、設定温度が変化しますので、希望の温度に合わせてください。
- もう一度設定ボタンを押すと、表示部の点滅は終了し、庫内温度を表示します。
- これで設定は完了です。



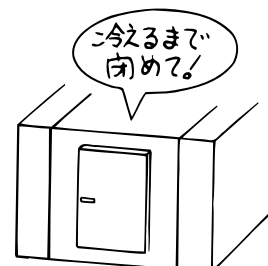
停止するとき

- リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 電源（ブレーカー）スイッチを切ってください。



品物の出し入れは

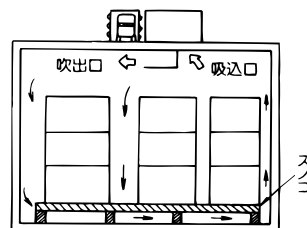
- 運転を開始したら、設定温度に冷えるまで扉を閉めきっておいてください。
- 庫内が冷えてから品物を入れます。
- 品物の出し入れのとき、扉の開閉は速やかに行ってください。
- 一度にたくさんの品物を入れますとクーリングユニットに無理がかかりますので、少しずつ分けて入れてください。



正しい使いかた (つづき)

品物の入れかた

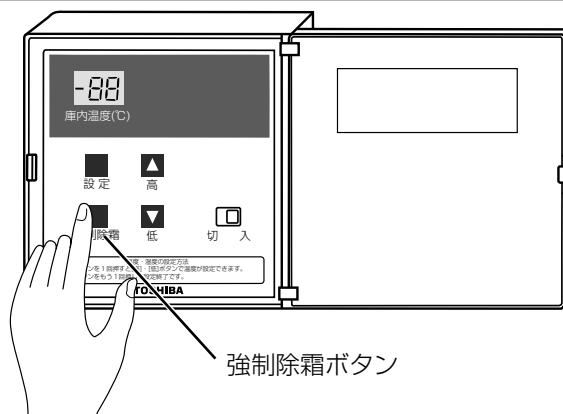
- 品物は冷氣吸込口や吹出口をふさがないように置いてください。
- 冷気の循環を良くするため、品物と品物の間に適当な間隔をとり、また床にはスノコを敷いてください。



除霜について

- このクーリングユニットは、約4時間ごとに自動的に冷却器に付着した霜を取り除きます。
- 強制的に除霜する場合は、強制除霜ボタンを押してください。除霜を開始します。

庫内温度が高い場合や着霜のない場合は、強制除霜ボタンを押しても除霜を行いません。(dFを表示し、すぐに温度表示にもどりますが異常ではありません。)

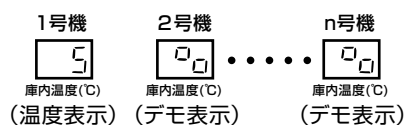


並列運転について

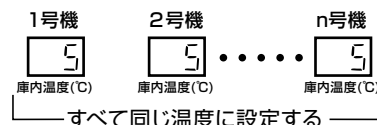
1つのプレハブ貯蔵庫に複数台のクーリングユニットを据え付けた場合、各クーリングユニットを連動させ、効率的な並列運転を行うことができます。(この場合、据え付け時に配線追加が必要となります)

並列運転を行っているときは、庫内温度表示は1つのリモコンスイッチに表示され、残りのリモコンスイッチには「デモ表示」を行います。温度設定をする場合は、必ず全てのリモコンを同じ温度に設定してください。

<表示>



<温度設定>



つぎのことは必ず守ってください

温度範囲

■クーリングユニットは次の温度範囲で使用してください。

●プレハブ貯蔵庫内 …………… 30 ～ 10℃

●クーリングユニット周囲温度 …… 0 ～ 40℃

これ以外の温度で長時間使用しますと、機械の故障のもとになります。

電源電圧の範囲

■このクーリングユニットは次の電源電圧の範囲でご使用ください。

電源電圧	3相 200 V ± 20V (50/60Hz)
------	--------------------------

電源電圧を、この範囲外で使用しますと機械の故障のもとになります。

電源は専用の配線を使用し他の電気器具と併用しないでください。

移設および廃棄について

転居などで製品を移動・再設置する場合は専門の知識が必要です。お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問合せください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

この時のフロン類の回収処理費用を機器廃棄者にご負担いただくことになっていますので、回収業者との間で適切な料金を取り決めてください。

(第一種特定製品)

●フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。

●フロン類が回収済みであることを確認してください。

未回収の場合は第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

収納品について

■次のものはプレハブ貯蔵庫内に入れないでください。

①酸性食品

冷却器が腐食し、クーリングユニットの寿命をちぢめます。

②揮発性、引火性のあるもの

エーテル、ベンジン、LPガス（ガスライター用ボンベなど）シンナー、アルコール、接着剤などは爆発する危険があります。

③あたたかいもの

（さましてから入れてください）



このようなときには

リモコンスイッチの表示により、運転中の異常をお知らせします。ご使用中に以下の表示をした場合、チェックポイントに従って処置を行ってください。

表 示	症 状	チェックポイント
何も表示しない	運転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源用ブレーカが切れていませんか。 ●漏電遮断器が働いていませんか。 ●停電していませんか。 ●リモコンの運転スイッチが「切」になっていませんか。
	除霜中です。	<ul style="list-style-type: none"> ●除霜中ですので異常ありません。
点滅  	庫内温度の異常です。	<ul style="list-style-type: none"> ●プレハブ貯蔵庫の扉が開いていたり隙間があいていませんか。 ●庫内の冷氣吸込口や吹出口が障害物でふさがれていませんか。 ●庫内に暖かいものが入っていませんか。(暖かいものはさましてから入れてください。) <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>上記のチェックポイントに異常がなかったり、改善しても表示の点滅が正常にならないときは、製品の異常ですので、お買いあげの販売店にご連絡ください。</p> </div>
	除霜不完全です。	<ul style="list-style-type: none"> ●強制除霜ボタンを押してください。(除霜後、再び E5 を表示する場合は製品の故障ですので、お買いあげの販売店にご連絡ください。)
   	製品の故障です。	<ul style="list-style-type: none"> ●お買いあげの販売店にご連絡ください。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 故障時の応急運転について </div> <p>この製品は、E1～E4表示の場合、庫内の品物を保護するために、自動的に応急運転を行います。 (E6～E9の場合は応急運転を行いません) ただし、長時間の応急運転はできませんので直ちにお買いあげの販売店にご連絡ください。</p>
	並列運転(*)のデモ表示です。	<ul style="list-style-type: none"> ●正常に動作中です。異常ではありません。 (※並列運転とは、1つのプレハブ貯蔵庫に複数台のクーリングユニットを取り付けた場合の運転のことです)
点滅 	運転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が逆相になっています。(21 ページ参照) お客様で処置されますと大変危険ですので、お買いあげの販売店にご相談ください。

お手入れのしかた

⚠ 警告

お手入れの際、製品に直接水をかけない
ショート、感電、故障の原因になります。



水かけ禁止

⚠ 注意

清掃の際、凝縮器フィンに直接手で触れない
けがの原因になります。



禁止

掃除するときや整備・点検のときは必ず運転スイッチを切り、元電源も切る



感電やファンによるけがの原因になります。

元電源「OFF」

長期使用で据付台などが傷んでないか定期的に点検する
傷んだ状態で放置すると、製品の落下につながりけがの原因になります。



定期点検

お手入れの際は必ず元電源を切ってから行ってください。

お願い

- つぎのものはクーリングユニットをいためますので、ご使用にならないでください。ミガキ粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ガソリン、石油、酸、熱湯、たわし。
- 凝縮器、冷却器などをナイフやドライバーでキズつけますと故障の原因になりますからやめてください。
- 電気部品や内部配線は危険ですから触れないでください。



●外側は

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、食品用中性洗剤をしみこませた布でふいてください。

●アースの状態は

アースの状態はときどき点検して確実にアースされていることを確認してください。

●凝縮器の掃除は

半年に1回、凝縮器のほこりをハケやブラシなどで取り除いてください。

●凝縮器フィルターは

凝縮器フィルターは1ヵ月に1度は取りはずして清掃してください。汚れたフィルターは水洗いするか、または中性洗剤で洗ってください。

メンテナンスサービスについて

●メンテナンスサービスをご利用ください。

お手入れの善し悪しで、クーリングユニットの寿命やはたらきに大きな差が生じます。定期的にメンテナンス（保守手入れ）を受けられるようおすすめします。専門の技術員によって実費でお引受けします。お買いあげの販売店にご相談ください。

修理サービスを依頼されるまでに

ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べになってください。それでもなおらないときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店にご相談ください。

修理は専門の技術が必要です。

修理に際して冷媒を回収する時は、フロン排出抑制法の規定にしたがってください。

全く冷えないとき	<ul style="list-style-type: none">●ブレーカやヒューズが切れていませんか。●停電ではありませんか。●運転スイッチが切れていませんか。●電源は正常ですか。 (200 V ± 20V になっていますか。)
よく冷えないとき	<ul style="list-style-type: none">●品物が入りすぎていませんか。●プレハブ貯蔵庫の扉は閉じていますか。●プレハブ貯蔵庫内の冷風の循環はうまく行われていますか。(品物で吹出口がふさがれていませんか。)●温度の高いものが、入っていませんか。●扉の開閉の回数が多くありませんか。●凝縮器にゴミやほこりが付着していませんか。 (11 ページのお手入れのしかたをご覧ください。)●凝縮器の周囲の風通しが悪くありませんか。 また吹出風が吸い込まれていませんか。●10 ページの異常表示が出ていませんか。 チェックポイントにしたがって処置してください。
異常音がするとき	<ul style="list-style-type: none">●プレハブ貯蔵庫を設置した床はしっかりしていますか。●クーリングユニットは確実に固定されていますか。 <p>※コンプレッサの運転が停止した後、数分間、コンプレッサがわずかに揺れたり音が出たりする場合がありますが異常ではありません。</p>

保証について

1. この東芝クーリングユニットには「保証書」がついています。
2. 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保存してください。
保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないときは有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
3. 万一故障した場合には、保証記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。
(ただし、下記保証範囲内で使用した場合に限ります。)
〈保証範囲〉

形 名	庫 内 温 度	クーリングユニット周囲温度	電 源 電 圧
TA-205AL2	-30 ~ -10℃	0 ~ +40℃	3 相 200 V ± 20V 以内 (50/60Hz) 相間電圧不平衡率 2% 以内

4. 有償修理となる範囲

下記使用法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

- 1) 保証範囲外で使用したことによる故障。
 - 2) お客様ご自身で製品改造された場合。
 - 3) 保冷品の二次補償。
保冷品の損傷、営業補償等の二次補償はいたしませんのでお買い上げの販売店とご相談のうえ損害保険で対処してください。
 - 4) 機種選定に不具合がある場合（冷却負荷に対して明らかに過大、過小の能力をもつユニットを使用し、故障に至ったと当社が判定した場合）。
 - 5) 据付工事、据付場所の不備による故障。
 - 6) 塩害による故障。
 - 7) 酸性食品の保冷に起因する故障。
 - 8) その他、ユニット据付、運転、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用による事故。
- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、クーリングユニットの形名およびお買いあげ時期をお忘れなく、お知らせください。
 - ご転居などでお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、下記にご相談ください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル



0120-1048-00

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 03-5326-5038（通話料：有料）

FAX 0947-32-8018（通話料：有料）

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

据付説明







安全上のご注意

- 据え付け工事をされる前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ正しく据え付け工事をしてください。
 - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
 - 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 据え付け工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって使用方法・お手入れのしかたをお客様に説明してください。
- また、この取扱説明書（据付説明書）は、お客様で保管いただくよう依頼してください。

⚠ 警告

据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う 据え付けに不備があると、冷媒漏れや感電、火災の原因になります。  据付工事は確実に	水のかかる恐れのある場所に据え付けない 発火や感電の原因になります。  禁止
据え付けは、製品の過荷重に十分耐える所に確実にを行う 強度不足や取り付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりけがの原因になります。  製品の荷重に注意	製品に手を触れないように安全カバーを付ける 手を触れるとけがの原因になります。  安全カバー
電気工事業者による D 種接地工事を実施する アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  アース工事	保護装置・安全装置の設定値変更はしない 製品の破裂、発火の原因になります。  禁止
電気工事は「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する 電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。  電気工事	指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない 指定冷媒以外を使用した場合、機器の保障や破裂、けがなどの原因になります。  指定冷媒以外禁止
フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。  強制	

⚠ 注意

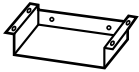



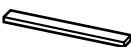
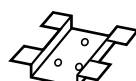


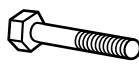
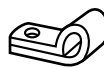





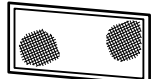
漏電遮断器を取り付ける 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。  漏電遮断器	可燃性ガスの漏れる恐れがある場所への据え付けは行わない 万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、発火の原因になります。  禁止
排水工事を据付説明書に従い確実にを行う 雨水、除霜水などが屋内に浸水し、周囲の家財などを濡らす原因になります。  排水工事は確実に	リモコンスイッチは雨や水がかかる恐れのある場所には取り付けない 感電・火災の原因になります。 リモコンスイッチは防水タイプではありません。  禁止
付属品は確実に装着する 付属品の装着を行わないと水漏れ、故障の原因になります。  付属品装着	換気をよくする 万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。  換気

据え付けのまえに

◆付属品の確認

●このクーリングユニットには、次の部品が付属されています。確認してください。

形名：TA-205AL2

No.	品 名	形 状	個数	備 考	No.	品 名	形 状	個数	備 考
①	ダクト (大)		1	吹出用 ダクト	⑩	ホース クランプ		2	ドレンホース 固定用
②	ダクト (小)		1	吹出用 ダクト	⑪	リモコン スイッチ		1	本体に 配線済み
③	シール用 クッション (大)		2	プレハブ貯蔵 庫とクーリン グユニットの シール用	⑫	リモコン ホルダー		1	リモコン スイッチ 取付用
④	シール用 クッション (小)		2		⑬	取付ねじ		14	———
⑤	取付用 ボルト (M10)		4	クーリング ユニット本体 固定用	⑭	クリップ		3	リモコン ケーブル 固定用
⑥	取付用 ナット		4		⑮	取扱説明書 [据付説明書]	本 紙	1	必ずお客様に お渡しください
⑦	取付用バネ ワッシャー		4		⑯	保 証 書		1	必ずお客様に お渡しください
⑧	取付用 ワッシャー		8		⑰	お客様ご相 談センター 一覧表		1	必ずお客様に お渡しください
⑨	凝縮器 フィルター		1	本体に取り 付け済み					

◆準備する部品

ドレン排水管	ドレン排水用として水道用硬質塩ビ管（JIS K6742）〈呼び径 20〉もしくは、内径 20mm のドレンホースを準備してください。
リード線	電源配線用およびアース配線用として、『6. 電気配線』を参照し、製品に合ったリード線を準備してください。
ブレーカ（ヒューズ）	『6. 電気配線』を参照し、製品に合った容量のものを準備してください。
漏電遮断器	定格感度電流 30mA のもので、製品の容量に合ったものを準備してください。

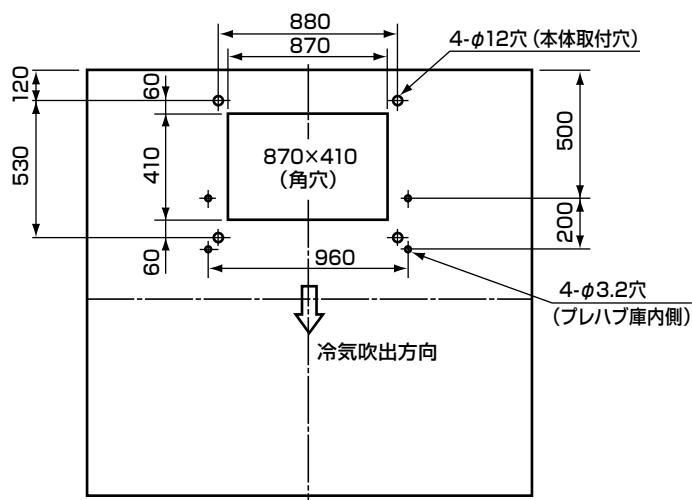
1 プレハブ貯蔵庫への穴加工

- プレハブ貯蔵庫に次の穴加工を行ってください。

東芝標準プレハブ貯蔵庫を購入されますと穴加工がされています。

(単位：mm)

■ TA-205AL2



お願い

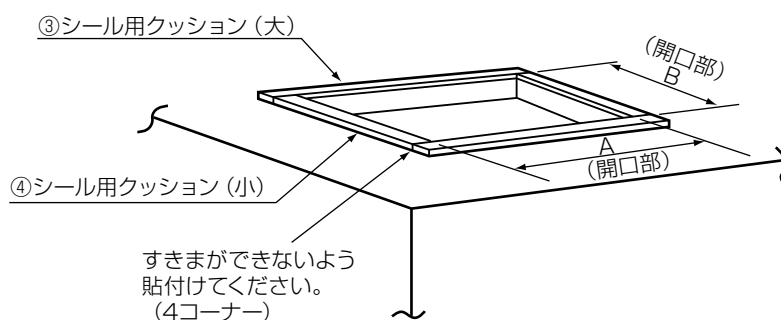
プレハブ貯蔵庫天井面の傾斜は 1° 以内であることを確認してください。傾斜が 1° 以上ありますとドレン排水不良の原因になります。

2 シール用クッションの貼り付け

- 付属の③シール用クッション（大）、④シール用クッション（小）をプレハブ貯蔵庫の角穴の周囲の天井に貼り付けます。

(単位：mm)

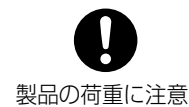
形 名	A寸法	B寸法
TA-205AL2	870	410



3 クーリングユニット本体の取り付け

⚠ 警告

- 据え付けは、製品の荷重に十分耐える所に確実に行う
強度不足や取り付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりけがの原因になります。
- 水のかかる恐れのある場所に据え付けない
発火や感電の原因になります。

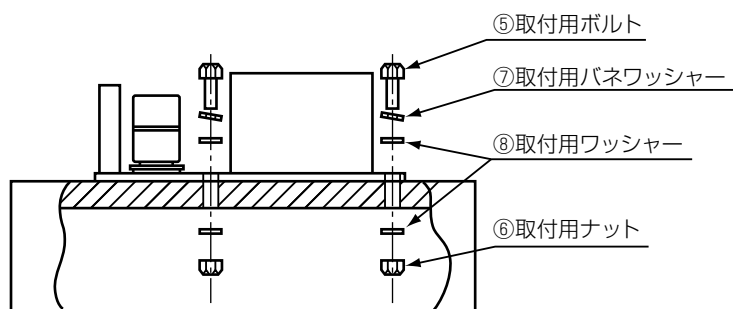


⚠ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への据え付けは行わない
万一ガスが漏れて製品の周囲に溜ると、発火の原因になります。
- 換気をよくする
万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。



- クーリングユニットを静かにプレハブ貯蔵庫の角穴の上に載せてください。このとき、クーリングユニットのベース穴とプレハブ貯蔵庫の穴φ12の位置が合うようにしてください。
- 付属のボルト、ナット、ワッシャーにてクーリングユニット本体を固定してください。



お願い

クーリングユニットをプレハブ貯蔵庫に載せたままで、左右に移動しますとシール用クッションがはがれるおそれがありますので、持ち上げた状態で移動してください。

4 ダクトの取り付け

⚠ 注意

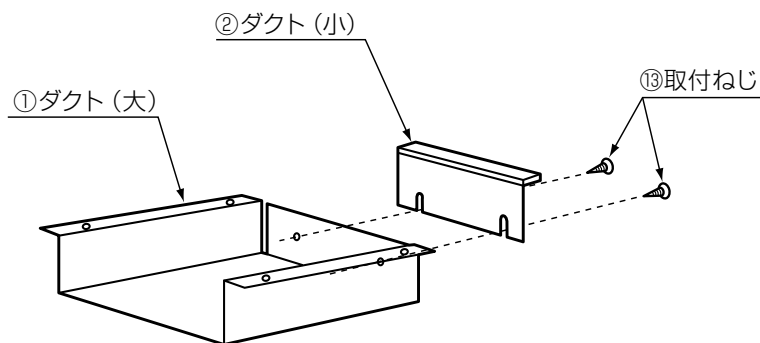
●付属品は確実に装着する

付属品の装着を行わないと水漏れ・故障の原因になります。

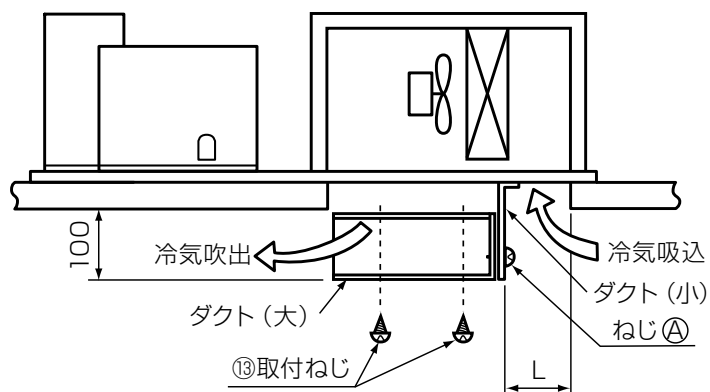


付属品装着

- ①ダクト（大）と②ダクト（小）を⑬取付ねじ 2 本で仮止めしてください。



- 組み立てたダクトを、プレハブ貯蔵庫内より天井面へ⑬取付ねじ 4 本で止めてください。



(単位：mm)

形 名	L 寸法
TA-205AL2	269

- 上図で仮止めしてあるねじ ㉞ をゆるめ、ダクト（小）の上面がクーリングユニット本体のベースに突き当たるまで押し上げ、ねじ ㉞ を確実に締め付けてください。

お願い

本体ベースとダクト（小）の間にすき間ができないように取り付けてください。すき間があると、冷却不良の原因になりますので注意してください。

5 ドレンホースの取り付け

⚠ 注意

●排水工事を据付説明書に従い確実に行う

雨水・除霜水などが屋内に浸水し、周囲の家財などを濡らす原因になります。



排水工事は確実に

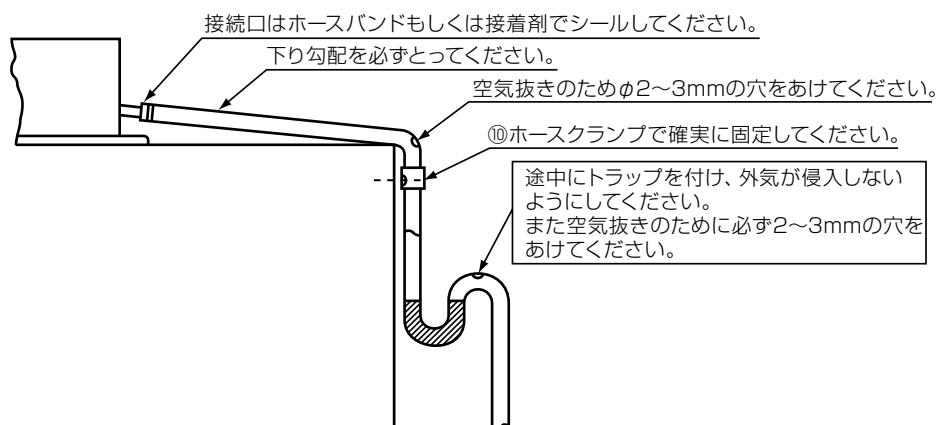
形名：冷凍 TA-205AL2

ドレンホース取り付けのまえに

ドレンホースは付属されていませんので、水道用硬質塩ビ管（JIS K6742）〈呼び径 20〉もしくは、内径 20mm のドレンホースを準備してください。

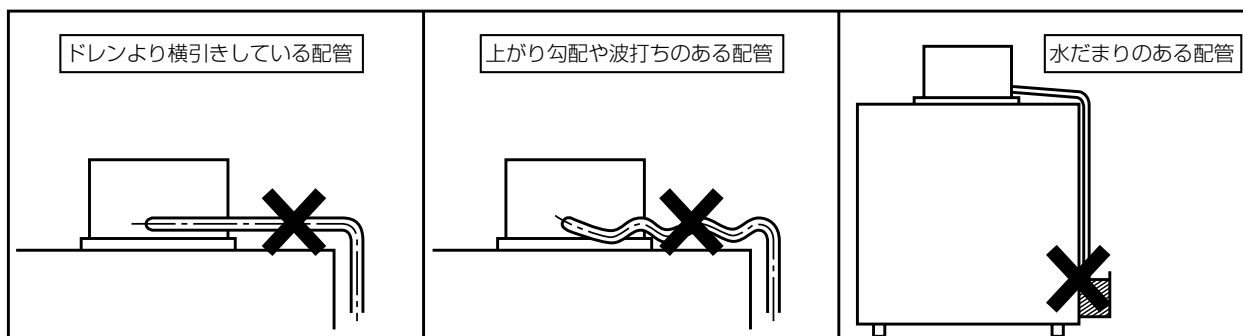
- 下図の配管例に従ってドレン配管を行ってください。
- ドレン接続口からの配管には必ず下り勾配をとってください。また空気抜きのため、 $\phi 2 \sim 3\text{mm}$ の穴をあけてください。
- ドレンホース接続口はホースバンドなどで水漏れのないようにしてください。

配管例



- また、次のようなドレン配管は排水不良の原因となりますので、行わないでください。

悪い配管例



- 寒冷地（外気が 0°C 以下になる地域）ではドレン配管内のドレン水が凍結する恐れがありますので、配管に断熱材を巻くか、ヒータを巻いて凍結を防止してください。

お願い

ヒータは、ワット密度 10W/m 以下のものを使用して、過熱しないことを確認して使用してください。

6 電気配線

⚠ 警告

●電気工事業者による D 種接地工事を実施する

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

●電気工事は「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する

電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。



電気工事

⚠ 注意

●漏電遮断器を取り付ける

漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

●リモコンスイッチは雨や水がかかる恐れのある場所には取り付けない

感電・火災の原因になります。リモコンスイッチは防水タイプではありません。



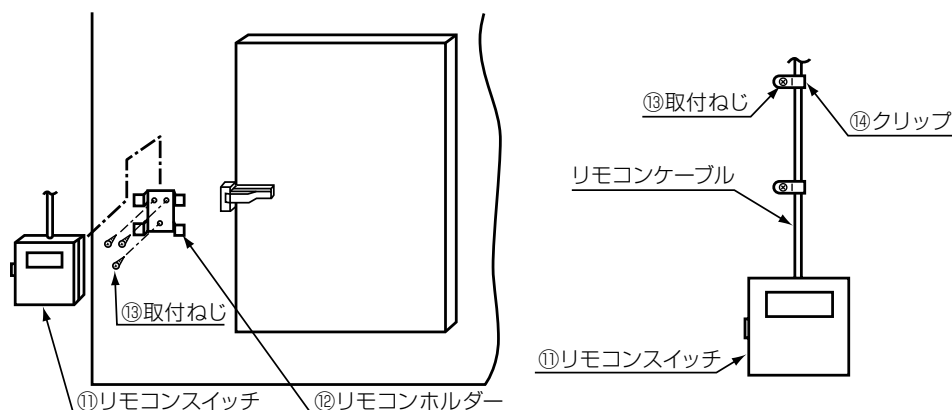
禁止

■電気配線のまえに

- (1) 電源は必ず専用の分岐回路から接続してください。
- (2) 電源には電気設備技術基準により漏電遮断器を取り付けてください。
- (3) クーリングユニット本体に、必ずアースを取り付けてください。(D 種接地工事)
- (4) 所轄の電力会社の規定および電気設備技術基準に従って行ってください。
- (5) 電源の配線は、電気工事士の資格がないとできません。

1) リモコンスイッチの取り付け

- リモコンスイッチは、プレハブ貯蔵庫の壁面などの見やすい位置へ取り付けてください。
- ⑫リモコンホルダーを⑬取付ねじ（3本）で固定してから、突出部にリモコンスイッチ裏面のスリット部を合わせ引っ掛けてください。
- リモコンケーブルは⑭クリップと⑬取付ねじで固定してください。

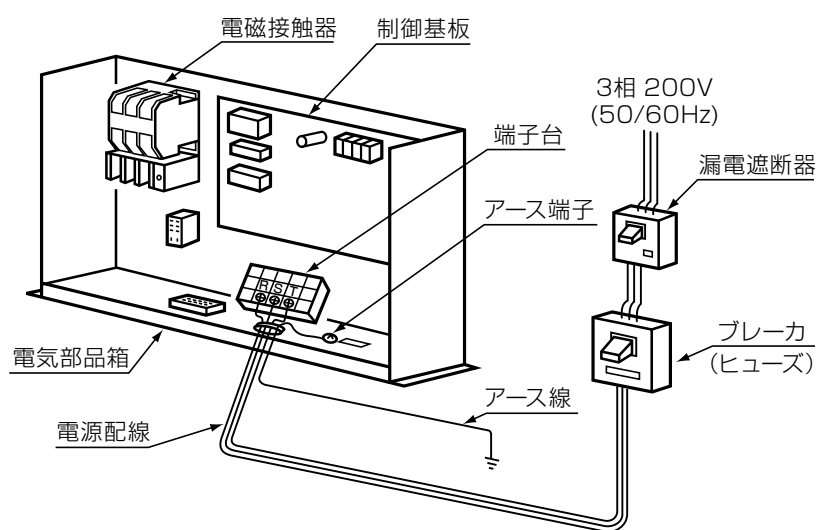


2) 電源およびアースの配線

- 配線は必ず次の表に従って行ってください。

形 名	電 源 回 路				アース線
	電源配線		ブレーカー (ヒューズ) 容 量	力率改善用 進相コンデンサ (50/60Hz)	
	20m以下	50m以下			
TA-205AL2	φ2.0mm	φ2.6mm	20A	75/－μF (0.94/－kVA)	φ1.6mm

- クーリングユニット本体の電気部品箱のカバーを取りはずし、中の端子台⑧、⑨、⑩に電源（3相 200V 50/60Hz）を接続してください。
- アース端子にアース線を接続してください。

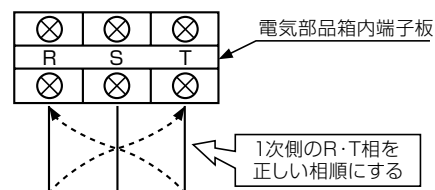


《 逆相の場合の相入れ替え方法 》

端子台の電源配線に 200V が印加されている状態で、運転スイッチの「入」「切」に関係なくリモコン表示部に「88」が点滅する場合は、三相電源が逆相ですので、下記の手順で相を入れ替えてください。

（この場合、運転スイッチを「入」にしてもセットは運転しません。）

1. 元電源を必ず OFF にしてから作業してください。
2. クーリングユニット内（2 次側）での相入れ替えは絶対しないでください。（圧縮機が逆回転し破損します）
3. 電磁開閉器の動作表示ボタンを手で押して運転しないでください。



■並列運転を行う場合

1 台のプレハブ貯蔵庫に複数台のクーリングユニットを据え付ける場合は、サーモコントロールおよび除霜時間の同期が必要となります。

< 1 台のプレハブ貯蔵庫に 1 セットのクーリングユニットを据え付ける場合、以下の作業は不要です >

電気配線 (つづき)

■並列運転の配線接続

●最大で 10 台までの並列運転が可能です。接続線は現地手配となります。

基幹セット・すべての従属セットにはそれぞれ、電源配線 (3 φ 200V 50/60Hz)、アース配線が必要です。

1) まず、複数のクーリングユニットの内、1 台を**基幹セット**に決めます。

基幹セットとは、複数のクーリングユニットを一括して制御するセットのことです。基幹セットは、プレハブ貯蔵庫に据え付けられているクーリングユニットであれば、どれでも構いません。

また、基幹セット以外のセットを**従属セット**と呼びます。

2) 下図のように基幹セット (# 1) の⑤⑥端子と従属セット (# 2) の③④端子を接続線でつなぎます。

3) 同じように従属セット (# 2) の⑤⑥端子と③④端子を接続線でつなぎます。

4) 以下同様に、⑤⑥端子と③④端子を接続線でつなぎます。

5) 最後のセットまでつなぎ終わったら完了です。

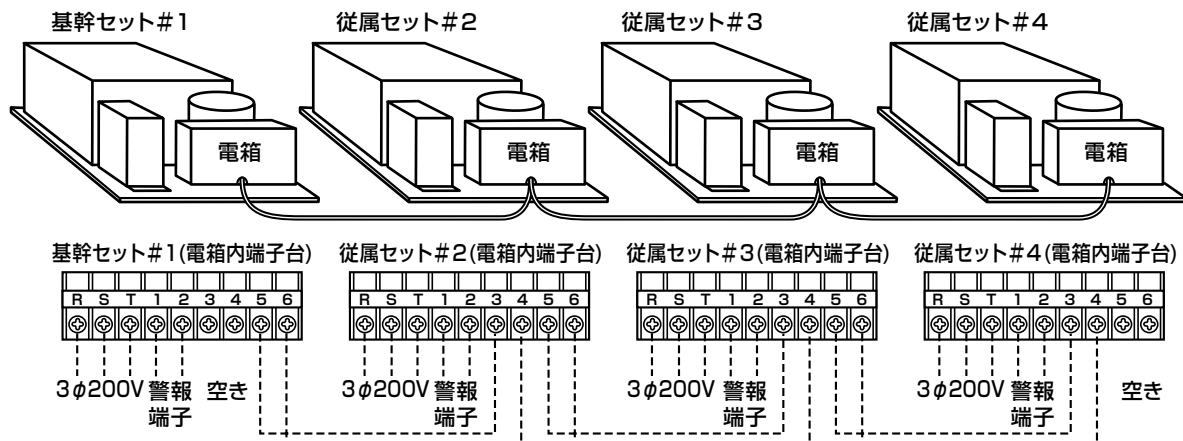
なお、基幹セット (# 1) の③④端子には、なにもつながないでください。

6) 結線終了後、温度設定を行います。

基幹セット・従属セットのすべてのリモコンを必ず同じ温度に設定してください。

(例) 4 台並列運転の結線方法

◇接続線は現地手配



7 試運転

警告

- 保護装置・安全装置の設定値変更はしない
製品の破裂・発火の原因になります。



試運転は取扱説明書の「運転のしかた」に従って行ってください。

■試運転のときには

- 1) 運転スイッチを入れても約3分間はコンプレッサは運転しませんが、異常ではありません。
- 2) 電磁接触器を押して強制的に運転することは絶対にやめてください。
(保護装置が作動しないため大変危険です)
- 3) リモコンスイッチの運転スイッチが「切」になっていても、回路には通電されています。
(電気部品箱内の制御基板のLEDが点滅していれば通電されています)
配線作業をするときは、必ず元電源（ブレーカー）を切ってください。
- 4) 並列運転をしている場合は、リモコンの庫内温度表示を確認してください。
基幹セット→温度表示
従属セット→デモ表示

※電源配線が逆相の場合、コンプレッサ保護のため逆相防止機能が働き、リモコンの運転スイッチを「入」「切」に関係なく、表示部に「**88**」を点滅表示します。(このとき運転スイッチを「入」にしても、セットは運転しません。)
この場合、電源配線(21ページ)を参照し、配線を入れ替えて再度試運転を行ってください。

8 お客様への引渡し

- 「保証書」を必ずお客様にお渡しください。
- 「取扱説明書」の内容を十分ご説明のうえ引渡しをお願いします。

9 リモコンによる制御設定値の変更方法

リモコンを操作することで、温度帯や除霜周期などを変更することができます。

お願い

以下の操作は、本製品の保証対象外となる場合がございますので、設定変更する場合は必ず、お買いあげの販売店にご相談ください。

- 1) [設定]、[高]、[低] ボタンを同時に 3 秒以上押します。すると [o1] を点滅表示します。
(設定中は、点滅しながら下表のように表示します。)
 - 2) [高] または [低] ボタンを押すことで庫内温度制御タイプが変わります。
 - 3) [設定] ボタンを押すと設定制御のタイプが変わり、温度 DIFF、除霜方式、除霜周期などを変更することができます。
 - 4) 最後に [設定]、[高]、[低] ボタンを同時に 3 秒以上押すと設定が変更され、庫内温度表示に変わります。
- 注) 60 秒以上ボタンが押されない状態が続くと、点滅が終わり庫内温度を表示しますが、設定は変更されていませんのでご注意ください。(設定は、前回記憶されたままとなります。)

[設定] ボタン	設定制御タイプ	リモコン表示部	[高] [低] ボタン
初期状態	庫内温度制御タイプの設定 (1) : -30~-10℃ (2) : -10~+10℃ (3) : -5~+15℃ (4) : +2~+22℃ (5) : -40~-20℃	o1 o2 o3 o4 o5	[高] ボタンで o1→o2→o3→o4→o5→o1…… [低] ボタンで o1→o5→o4→o3→o2→o1…… に切り替わる
1 回押す	温度DIFFタイプの設定 (1) : 1.0k (2) : 2.0k	d1 d2	いずれか 1 回押す毎に d1、d2 が切り替わる
1 回押す	除霜方式タイプの設定 (1) : ホットガス除霜 (2) : ヒータ除霜 (3) : オフサイクル除霜 (4) : オフサイクル除霜2	U1 U2 U3 U4	[高] ボタンで U1→U2→U3→U4→U1…… [低] ボタンで U1→U4→U3→U2→U1…… に切り替わる ※ オフサイクル除霜 (U3) : 除霜センサにより除霜復帰 オフサイクル除霜2 (U4) : タイムセーフ中はオフサイクル除霜継続
1 回押す	除霜時間 (周期) タイプの設定 (1) : 1H (2) : 2H (4) : 4H (6) : 6H	J1 J2 J4 J6	[高] ボタンで J4→J6→J1→J2→J4…… [低] ボタンで J4→J2→J1→J6→J4…… に切り替わる
1 回押す	除霜復帰温度タイプの設定 (7) : 7℃ (15) : 15℃ (25) : 25℃ (35) : 35℃ (45) : 45℃ (FF) : 接点 ON	F7 F1 F2 F3 F4 FF	[高] ボタンで F1→F2→F3→F4→FF→F7→F1… [低] ボタンで F1→F7→FF→F4→F3→F2→F1… に切り替わる
1 回押す	水切り時間タイプの設定 (0) : 水切りなし (3) : 3分 (5) : 5分 (7) : 7分 (9) : 9分	C0 C3 C5 C7 C9	[高] ボタンで C5→C7→C9→C0→C3→C5…… [低] ボタンで C5→C3→C0→C9→C7→C5…… に切り替わる
1 回押す	並列運転モードの表示タイプ設定 (1) : デモ表示 (2) : 庫内温度 (DF) / デモの交互表示	H1 H2	いずれか 1 回押す毎に H1、H2 が切り替わる
1 回押す	タイムセーフタイプ設定 (1) : 15分 (2) : 20分 (3) : 30分 (5) : 50分	L1 L2 L3 L5	[高] ボタンで L5→L1→L2→L3→L5…… [低] ボタンで L5→L3→L2→L1→L5…… に切り替わる
1 回押す	除霜スタンバイ (3分) タイプ設定 (1) : 設定なし (2) : 設定あり ※ 除霜スタンバイとは除霜開始前に3分間 コンプレッサのみ停止させる (コント ロール OFF と同じ) モードです。	b1 b2	いずれか 1 回押す毎に b1、b2 が切り替わる ※ 本設定は変更しないようにしてください。 (工場出荷時の設定でご利用ください。) 本設定を変更した場合、除霜運転中 (DF 表示中) に 庫内温度が上昇する不具合が発生する可能性があります。
1 回押す	コントロールOFF時 (コンプ遅延時含) の冷却器用ファンモータの運転制御 設定 (1) : ON (冷却器ファン運転) (2) : OFF (冷却器ファン停止)	e1 e2	いずれか 1 回押す毎に e1、e2 が切り替わる ※ 左記設定はプレハブ貯蔵庫内を高湿 / 低湿にする場合 (e1 : 高湿, e2 : 低湿) に行いますが、次の点にご注意く ださい。また、本設定変更起因するクレームについては 保証対象外となりますのでご了承ください。 1. 庫内の湿度は、プレハブ貯蔵庫の容量により変わります。 左記設定にした場合でもご希望の湿度にならない場合があ りますので、ご容赦ください。また庫内の湿度については 保証対象外となります。 2. e2 (低湿) タイプに設定した場合、コントロールOFF時に 冷気が庫内を循環しませんので、温度ムラが発生する場合 があります。
1 回押す	庫内温度制御タイプの設定にもどる (その後、上記を繰り返す。)	—	—

工場出荷時の設定について

本誌記載機種の工場出荷時の設定は、下表の通りです。

機種名	表示システム リセット時	庫内温度 タイプ	温度DIFF タイプ	除霜方式 タイプ	除霜周期 タイプ	除霜復帰 温度タイプ	水切時間 タイプ	並列運転時 表示タイプ	タイムセーフ 時間タイプ	除霜スタンバイ タイプ	OFF時の冷却器 FM制御タイプ
TA-205AL2	(5A)	(o1)	(d2)	(U1)	(J4)	(F1)	(C5)	(H1)	(L5)	(b1)	(e1)
内 容	天置冷凍タイプ	-30~-10℃	DIFF:2k	ホットガス除霜	周期:4H	復帰:15℃	水切:5分	デモ表示	タイムセーフ:50分	設定なし	冷却器FM:ON
備 考	(o1)-30~-10℃ (o2)-10~-+10℃ (o3)-5~-+15℃ (o4)+2~-+22℃ (o5)-40~-20℃	(d1)1k (d2)2k	(U1)ホットガス (U2)ヒータ (U3)オフサイクル (U4)オフサイクル2	(J1)1H (J2)2H (J4)4H (J6)6H	(F7)7℃ (F1)15℃ (F2)25℃ (F3)35℃ (F4)45℃ (FF)接点ON	(C0)水切なし (C3)3分 (C5)5分 (C7)7分 (C9)9分	(H1)デモ表示 (H2)庫内温度 デモ交互表示	(L1)15分 (L2)20分 (L3)30分 (L5)50分	(b1)設定なし (b2)設定あり	(e1)ON (冷却器ファン運転) (e2)OFF (冷却器ファン停止)	

設定を元に戻す方法

以下の操作で設定は工場出荷時の値に戻ります。

- 1) 運転中であれば、リモコンの運転スイッチを[切]にして、運転を停止させます。
- 2) リモコンの[設定]、[高]、[低] ボタンを同時に押しながら、運転スイッチを[入]にします。
- 3) [設定]、[高]、[低] ボタンを離すとリモコンの温度表示部に上表の[表示システムリセット時]の数字または文字と一致します。(本誌記載の機種であれば[5A]となります。)
- 4) 以上で設定は終了です。

10 フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。

「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問合せください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：<http://www.jarac.or.jp/>

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル



0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 03-5326-5038（通話料：有料）

FAX 0947-32-8018（通信料：有料）

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

メ モ

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dashed lines.

東芝キャリア株式会社
〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地



SN:EM99921801-②